

特記事項

- 研修会場までの交通費および研修会中の宿泊費は参加者の負担となります。
- 研修会には野外実習が含まれます。森林内で作業可能な服装をご準備ください。
- 各開催地で実施される全科目を受講した参加者には修了証を授与します。

参加申込

申込方法が研修会開催地によって異なります。
 (株)野生動物保護管理事務所ウェブサイト
 (<http://www.wmo.co.jp>)をご確認ください。各研修会の定員は30名です。定員に達し次第、募集は終了させていただきます。なお、鳥獣被害対策コーディネーター研修会は前期/後期の二部構成になっており、両研修会に参加可能な方を優先させていただきます。

研修会開催日程

鳥獣被害対策コーディネーター

開催地	会期	日程	申込締切	問い合わせ先
埼玉県 秩父市	前期	12月11日(火) ～12月14日(金)	12月1日(金)	(株)野生動物保護管理事務所 Tel 042-860-0256/ Fax 042-798-7565/ Email kenshu@wmo.co.jp 担当: 平山・櫻庭
	後期	1月15日(火) ～1月18日(金)	1月4日(金)	(株)野生動物保護管理事務所 Tel 042-860-0256/ Fax 042-798-7565/ Email kenshu@wmo.co.jp 担当: 平山・櫻庭
福岡県 福岡市	前期	12月18日(火) ～12月21日(金)	12月7日(金)	(株)野生動物保護管理事務所(関西分室) Tel 078-982-3340/ Fax 078-987-2290/ Email kenshu@wmo.co.jp 担当: 横山・宮本・井ノ口
	後期	1月22日(火) ～1月25日(金)	1月11日(金)	(株)野生動物保護管理事務所(関西分室) Tel 078-982-3340/ Fax 078-987-2290/ Email kenshu@wmo.co.jp 担当: 横山・宮本・井ノ口

地域リーダー(森林)

開催地	日程	申込締切	問い合わせ先
北海道 深川市	11月19日(月) ～11月21日(水)	11月12日(月)	NPO法人EnVision 環境保全事務所 Tel & Fax 011-726-3072/ Email hokkaido_kensyu@env.gr.jp 担当: 中村・早稲田
宮城県 気仙沼市	11月20日(火) ～11月22日(木)	11月6日(火)	(同)東北野生動物保護管理センター Tel 022-394-5980/ Fax 022-394-7922/ Email kensyu_tohoku@four-m.jp 担当: 木野田・小野田
山梨県 富士河口湖町	11月14日(水) ～11月16日(金)	11月7日(水)	(株)野生動物保護管理事務所 Tel 042-798-7545/ Fax 042-798-7565/ Email kenshu@wmo.co.jp 担当: 宗兼・三井・榊
愛知県 新城市	12月10日(月) ～12月12日(水)	11月26日(月)	(株)野生鳥獣対策連携センター Tel 0795-78-9799/ Fax 0795-78-9769/ Email kensyu@cho-jyu.jp 担当: 黒岩
奈良県 奈良市	11月28日(水) ～11月30日(金)	11月13日(火)	(一社)日本森林技術協会 Tel 03-3261-6349/ Fax 03-3261-3044/ Email kenshu_nara@jafta.or.jp 担当: 山本・藤井
岡山県 津山市	12月3日(月) ～12月5日(水)	11月19日(月)	(株)野生鳥獣対策連携センター Tel 0795-78-9799/ Fax 0795-78-9769/ Email kensyu@cho-jyu.jp 担当: 黒岩
香川県 小豆郡	11月26日(月) ～11月28日(水)	11月12日(月)	(株)野生鳥獣対策連携センター Tel 0795-78-9799/ Fax 0795-78-9769/ Email kensyu@cho-jyu.jp 担当: 黒岩

座学から野外実習地へは移動を伴います。また、記載内容には変更の可能性がありますので、ウェブサイト <http://www.wmo.co.jp> の最新情報をご確認ください。

林業地 獣害対策

農林水産省 平成30年度鳥獣被害対策基盤支援事業

鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修 開催案内

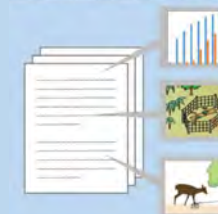
シカ等野生鳥獣が全国的に増加し、農業だけでなく、林業にも多大な被害を与えています。林業地で被害対策を推進するため、計画策定を担う「鳥獣被害対策コーディネーター」、対策実行現場で中心的な役割を担う「地域リーダー(森林)」を育成する研修会を開催します。

全国9ヶ所で開催が予定されています。裏面の開催地をご覧ください。研修会では、座学に加え、くくりわなや防護柵を用いた野外実習等を行います。カリキュラムについては内面をご覧ください。

鳥獣被害対策コーディネーター

鳥獣被害対策(*)に関する幅広い知識をもち、被害対策の計画策定能力をもつ人材の育成を目的とする研修会です。4日間×2回(前・後期)の研修期間内で、計画策定に必要なとされる基礎知識等の座学、被害対策技術の野外実習に加え、計画策定実習を行います。

主な対象者: 森林総合監理士、森林管理局習職員、普及指導員、森林施業プランナー、都道府県担当職員、市町村担当職員、林業事業体職員等



地域リーダー(森林)

鳥獣被害対策(*)の技術を身につけ、実行現場で指揮をとることができる人材の育成を目的とする研修会です。3日間の研修期間で、被害対策に関する基礎知識および技術に関する座学、野外実習を行います。

主な対象者: 森林管理習職員、普及指導員、市町村担当職員、森林組合職員、林業事業体職員等



(*)全国的な被害状況から本研修会で扱う獣種はシカのみとなります。

参加
費用

無料 (テキスト代を含む)

参加
申込

Web 申込フォーム
または Email, Fax

主催 株式会社 野生動物保護管理事務所

<http://www.wmo.co.jp> / 東京都町田市小山ヶ丘 1-10-13 / Tel 042-860-0256

鳥獣被害対策コーデイネーター研修会カリキュラム

午前部 (9:00-12:00)		午後部 (13:00-17:00)		夜間
1日目	<p>ガイダンス 研修の目的・研修の趣意や対策の状況について、1分程度で発表・情報共有し、地域ごとの差異を理解する。</p> <p>現状の把握 現状把握手法・地域の被害や対策の状況について、1分程度で発表・情報共有し、地域ごとの差異を理解する。</p> <p>計画の見直し 5名程度のグループに分かれ、被害対策を実施する地域を絞り込むための調査設計等の計画策定を行い、計画策定のため必要な事項を理解する。</p>	<p>【室内実習】 ショートプレゼンテーション</p> <p>【室内実習】 広域計画策定実習</p>		
2日目	<p>目標設定と計画立案 現状把握から目標設定、防護の個別手法、目的に応じた手法の選択方法を、事業実施にあたって必要な調査・手書き等を理解する。</p> <p>防護による鳥獣被害対策 防護の種類、シカによる影響を把握するための留意点・不審好作物の発生状況、車道の障害物を用いた発生調査等により、被害や生息状況を把握するために必要な知識を習得する。</p> <p>【野外実習】 現状の把握方法</p> <p>【室内実習】 防護計画策定実習</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた防護手法と設置現場を選択し、防護計画の策定を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>	<p>【野外実習】 防護による鳥獣被害対策</p> <p>防護の種類、シカによる影響を把握するための留意点・不審好作物の発生状況、車道の障害物を用いた発生調査等により、被害や生息状況を把握するために必要な知識を習得する。</p> <p>【室内実習】 防護計画策定実習</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた防護手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>		
3日目	<p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(続)</p> <p>罠による捕獲を行う際の、射手の行動や判断の事項について解説する。特に、新撃のための獲物の探索、射撃位置の選択と射角の確認等を安全管理の観点を含めて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習②</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>	<p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(わな)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習①</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>		
4日目	<p>【室内実習】 捕獲による鳥獣被害対策(続)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習②</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>	<p>【室内実習】 捕獲による鳥獣被害対策(続)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習①</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>		
1日目	<p>前期の復習 前期研修会以降に新たに気づいた課題や問題点について、分程度で発表する。</p> <p>【室内実習】 ショートプレゼンテーション</p> <p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(わな)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習①</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>	<p>【室内実習】 ショートプレゼンテーション</p> <p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(わな)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習①</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>		
2日目	<p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(続)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習②</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>	<p>【室内実習】 ショートプレゼンテーション</p> <p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(わな)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習①</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>		
3日目	<p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(続)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習②</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>	<p>【室内実習】 ショートプレゼンテーション</p> <p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(わな)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習①</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>		
4日目	<p>【室内実習】 捕獲による鳥獣被害対策(続)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習②</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>	<p>【室内実習】 ショートプレゼンテーション</p> <p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(わな)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習①</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>		

地域リーダー（森林）研修会カリキュラム

午前部 (9:00-12:00)		午後部 (13:00-17:00)		夜間
1日目	<p>ガイダンス 研修の目的・研修の趣意や対策の状況について、1分程度で発表・情報共有し、地域ごとの差異を理解する。</p> <p>現状の把握 現状把握手法・地域の被害や対策の状況について、1分程度で発表・情報共有し、地域ごとの差異を理解する。</p> <p>計画の見直し 5名程度のグループに分かれ、被害対策を実施する地域を絞り込むための調査設計等の計画策定を行い、計画策定のため必要な事項を理解する。</p>	<p>【室内実習】 ショートプレゼンテーション</p> <p>【室内実習】 広域計画策定実習</p>		
2日目	<p>目標設定と計画立案 現状把握から目標設定、防護の個別手法、目的に応じた手法の選択方法を、事業実施にあたって必要な調査・手書き等を理解する。</p> <p>防護による鳥獣被害対策 防護の種類、シカによる影響を把握するための留意点・不審好作物の発生状況、車道の障害物を用いた発生調査等により、被害や生息状況を把握するために必要な知識を習得する。</p> <p>【野外実習】 現状の把握方法</p> <p>【室内実習】 防護計画策定実習</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた防護手法と設置現場を選択し、防護計画の策定を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>	<p>【野外実習】 防護による鳥獣被害対策</p> <p>防護の種類、シカによる影響を把握するための留意点・不審好作物の発生状況、車道の障害物を用いた発生調査等により、被害や生息状況を把握するために必要な知識を習得する。</p> <p>【室内実習】 防護計画策定実習</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた防護手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>		
3日目	<p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(続)</p> <p>罠による捕獲を行う際の、射手の行動や判断の事項について解説する。特に、新撃のための獲物の探索、射撃位置の選択と射角の確認等を安全管理の観点を含めて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習②</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>	<p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(わな)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習①</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>		
4日目	<p>【室内実習】 捕獲による鳥獣被害対策(続)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習②</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>	<p>【室内実習】 ショートプレゼンテーション</p> <p>【野外実習】 捕獲による鳥獣被害対策(わな)</p> <p>くりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現地で稼働しているわなについて解説する。</p> <p>【室内実習】 捕獲計画策定実習①</p> <p>5名程度のグループに分かれ、目的に応じた捕獲手法、捕獲努力量を含めた捕獲計画の策定、およびその評価を行い、計画策定のために必要な事項を理解する。</p>		

- 【野外実習】 / 【室内実習】 の記載がないものは座学となります
- 枠の幅は所要時間の目安となります
- 野外実習には移動が伴います
- 開催地により、座学・実習の順序、内容および所要時間が異なることがあります
- 詳細と最新情報はウェブサイトを (<http://wmo.co.jp/r-kenshu/>) に記載しています



研修会カリキュラムや事業全体に関する問い合わせ：
株式会社 野生動物保護管理事務所 / Tel 042-860-0256 (担当：平山・嵯庭・岸本)